



奄美群島

石川直樹 写真集 「ARCHIPELAGO」 (集英社)



奄美大島



徳之島



沖永良部島



与論島

写真家・石川直樹さんの「ARCHIPELAGO」(群島)と名付けられた写真集には、奄美群島(奄美大島・徳之島・沖永良部島・与論島)で撮影した写真が多数収められています。撮影地は、南は奄美群島のほか、トカラ列島、沖縄、台湾、北は北海道、サハリン島、クイーンシャーロット島など。日本周辺の様々な島々を旅し、出会った風景や風物・人々の姿を、瑞々しく好奇心に満ちた視点で切り取っています。ページをめくれば奄美群島の新たな魅力を発見できるのでは。シマンチュも、島好きの皆さんも必見の写真集です。

石川 直樹 Naoki Ishikawa



写真家。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、行為の経験としての移動、旅をテーマに作品を発表し続けている。2000年、Pole to Pole 日本代表として、北極から南極を人力で踏破。2001年、七大陸最高峰登頂を達成。著作に「いま生きているという冒険」(理論社)ほか。
<http://www.straighttree.com/>

喜界島

ポイント211公園オープン

喜界島の最高地点(211.962m)にこのほど「ポイント211公園」がオープン。眼下に太平洋を見渡せ、西側には奄美大島と東シナ海を望むことができる、絶景ポイント。

年に約2mmずつ隆起している喜界島。200万年後には4000mを超えて、「ポイント4000公園」になっているかも？

(問)喜界町役場 企画課 0997-65-1111



奄美大島

11/15～22 やんご生誕百年 記念イベント開催(奄美市 名瀬)



2010年秋、奄美群島最大の繁華街、「やんご通り」の生誕100年を記念して、様々なイベントが催されます。北部や南部からのシャトルバス運行も！

★やんご生誕百年記念イベント★

11/15 オープニングイベント(屋仁川通り)

11/15 和ナイト(ASIVI)

11/19 やんごはしで酒(金久公園スタート)

11/20 やんご屋台村(金久公園)

11/21 屋仁川フォークジャンボリー(金久公園)

その他

期間中5店舗利用可の「やんごパスポート」発行
イベント時に北部・南部からの貸切バス運行 ほか

(問)奄美市 商水情報課 0997-52-1111

9/22 油井豊年踊り開催(瀬戸内町 油井)



「油井の豊年踊り」は、旧暦8月15日、油井集落で行われる、稲作の豊年踊りです。微笑を湛えた表情の紙面をつけ、稲作収穫までの過程を表し踊る姿はとてもユーモラス。鹿児島県指定民俗文化財。

10/16 諸鈍シバヤ開催(加計呂麻島 諸鈍)

「諸鈍シバヤ」は、旧暦9月9日に諸鈍の大屯(おおちゃん)神社で奉納される芸能です。平資盛の伝説と共に伝えられ、紙面をつけた演者によるユーモラスな踊りや寸劇、人形芝居などで構成されます。



国指定重要無形民俗文化財。(民俗芸能：渡来芸・舞台芸)

油井豊年踊り、諸鈍シバヤとも
(問)瀬戸内町 社会教育課 0997-72-0113

徳之島

10/24 第23回トライアスロンIN徳之島 開催

「トライアスロンIN徳之島大会」は、平成22年大会で23回目となる国内屈指の人気のある大会です。制限時間8時間の内にスイム・バイク・ランで島を一周する98kmコース。平成22年10月24日(日)午前8時、ヨナマビーチスタート。美しい海に囲まれた、徳之島一周レース！熱い挑戦が、いま始まる！

トライアスロン大会：10月24日(日)午前8時～ 表彰式&どんちゃんパーティー(総合運動公園)：10月24日(日)午後5時～
(問)天城町役場 商水観光課内 トライアスロンIN徳之島大会実行委員会事務局 0997-85-5149



沖永良部島

松の前池「ため池百選」に

農林水産省「ため池百選」にて、全国21万ヶ所のため池の中から、松の前池が鹿児島県で唯一、百選の一つに選ばれました。同池は琉球王朝時代の世之主伝説にまつわる歴史ある池で、現在はいかんがい用水として島の農業に欠かせない水がめです。渡り鳥の中継地としても重要な池となっており、さまざまな野鳥に出会えることも。



(問)和泊町役場 耕地課
0997-92-1111

沖永良部出身 大山百合香さんアルバム発売



(問)リスペクトレコード
03-3746-2503

沖永良部島出身の歌手、大山百合香さんが歌う「わたしのすきなうた～唱歌集」が発売。スカやレゲエアレンジで「われは海の子」「ふるさと」「おぼろ月夜」などの唱歌をギターやウクレレに乗せて透明感溢れる声で歌い上げた、癒しの音楽。懐かしい日本の風景を音に乗せて運んでくるようです。

与論島 9/22 11/20 与論十五夜踊り 開催

「与論十五夜踊り」は旧暦3月・8月・10月の各15日に自主神社境内で催される芸能です。琉球王朝時代、琉球と大島4島から取り入れた芸能を組み合わせ創始されたといわれており、紙面をつけ演じる大和風の狂言と、黒頭巾を纏って踊る琉球風の風流踊りが交互に演じられるのが特色です。

国指定重要無形民俗文化財。



(問)与論町 教育委員会 0997-97-3111

奄美群島内アクセスマップ

空の旅

日本エアコミューター 0120-25-5971

海の旅

マリックスライン

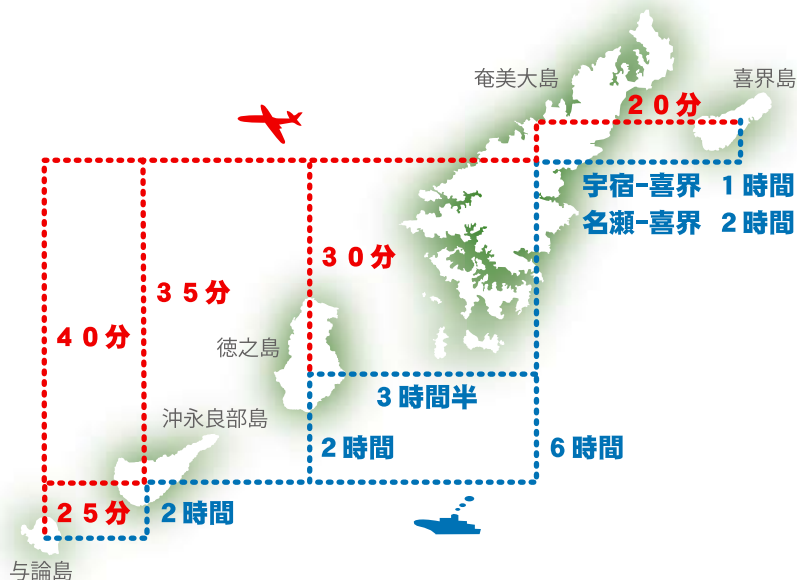
東京	03-6212-5222
鹿児島	099-225-1551
名瀬	0997-52-5151
	0997-53-3111
那覇	098-862-9098

マルエーフェリー

東京	03-5643-6170
鹿児島	099-226-4141
名瀬	0997-53-2111
古仁屋	0997-72-1151
喜界	0997-65-0057
那覇	098-861-1886

日東商船(宇宿-喜界 不定期航路)

奄美	0997-55-2055
----	--------------





2009.7 >> 2010.3

奄美パーク イベント実績報告

2009
7月

皆既日食特別企画展「見て触れて感じる奄美自然博物館」

平成21年7月17日(金)～8月16日(日) 田中一村記念美術館 企画展示室

龍郷町環境教育推進指導員である前園泰徳さんによる展示を、奄美野鳥の会や奄美哺乳類研究会などさまざまな団体のご協力のもと開催しました。
奄美の天然記念物の写真や、奄美の昆虫、植物や貝などの標本、ハブなど身近な危険生物の写真、生きている小動物など、バラエティ豊かな展示を行ったほか、前園氏による講演会も開催しました。



皆既日食

平成21年7月22日(水) 奄美パーク

今世紀最大の天体ショーである「皆既日食」に併せ、島唄を中心とした野外コンサート(夜ネヤ、島ンチュ、リスペクチュ!!)やプラネタリウムなど、様々なイベントが開催され、多くの観光客で賑わいました。
皆既日食当日に屋外イベント広場で行われた皆既日食観測会では、奄美FMディ！ウェイヴによるFM生中継も行われました。



7月ライブステージ「汝きゃ我きゃ島唄しよーろ!!」

平成21年7月26日(日) 13:30～15:30 イベント広場

「龍郷町島唄保存会」による(汝きゃ我きゃ島唄しよーろ!!)を開催しました。シマ唄、シマ唄とジャンベ、ハンスリー、六調など盛りだくさんの催し物で来場者を楽しませていました。また、サブタイトルになっている「汝きゃ我きゃ島唄しよーろ!!」(皆で唄いましょう)ということで、会場の皆さんと出演者が一緒になり、歌い踊って楽しんでいました。



夏休み親子スケッチ大会

平成21年7月26日(日) 10:00～15:00 8月23日(日) 10:00～15:00 奄美パーク内

芸術文化振興のため、夏休み親子スケッチ大会を企画しました。7月は赤木明実先生、8月は有川幸輝先生を講師としてお招きし、風景の描き方や色の使い方などのアドバイスを頂いた後、各自で奄美パーク内の風景を描き、講師による講評を受けました。参加した子ども達は、自分自身の色を使いながら奄美パークを表現していました。

8月



サマーコンサート「～古から今ぬ世へ～パート8」

平成21年8月16日(日) 13:30～16:20 イベント広場

奄美大島 各市町村のシマ唄の唄者が集い、皆既日食をテーマに、島ンチュにとつての月・星・太陽をカサン唄(奄美大島北部)とヒギヤ唄(奄美大島南部)のシマ唄で唄い比べました。
奄美高校郷土芸能部「太陽の子」は「六調太鼓」を艶やかに力強く演奏し、最後は来園者の皆さんとともに六調で宴のお開きとなりました。



「シュールin奄美」前村卓巨洋画展

平成21年8月23日(日)～9月13日(日) 田中一村記念美術館 企画展示室

平成16年度から平成21年度まで田中一村記念美術館にて学芸専門員を務めた、前村卓巨氏による作品展を行いました。
赴任6年目となった奄美生活で感じた、島の強い日差しと果てしなく広がる青い海を独自の感性でシュールリアリズムの世界に描き出した作品群のほか、皆既日食を描いた作品なども展示されました。

9月



9月ライブステージ「Dancer In The Park」

平成21年9月27日(日) 15:00～16:40 イベント広場

奄美パーク初のダンスイベントを開催。ASA大島ジュニア新体操クラブ・I・N・G・県立大島高校新体操部による演技のほか、X・h・i・l・d・r・e・nはマイケル・ジャクソンメドレー「ねばーらんど」をストーリー仕立てで披露。
カサリンチュによるミニライブや、プロダンサー K・E・S・U・K・E・P・E・E・T・S・E・T・Oらのダンスで、会場は大いに盛り上がりしました。



2009.7 >> 2010.3

奄美パーク イベント実績報告



平井泰輔写真展(干瀬の白波)「糸の綾 Part II」

平成21年9月20日(日)～10月11日(日) 田中一村記念美術館 企画展示室

平井泰輔氏による写真展を開催しました。長時間露光の技術を使い、夜の干瀬を月灯りだけで撮影した作品は、日常の視覚の世界とは異なる独特の表情が表現されていました。

来場した地元の方々は、普段見慣れた奄美の海の景色との違いに驚き、作品に顔を近づけるなどして熱心に鑑賞していらっしゃいました。



一村シンポジウム

平成21年9月12日(土) 14:00～16:00 田中一村記念美術館 特別展示室

田中一村の又従妹にあたる川村不昧さんをお招きした講演会を開催しました。千葉寺時代の一村は、川村さんの家によく出入りしており、川村不昧さんとも長い交流がありました。千葉寺時代の作品を前に、作品の元となった風景や人物の名前などを不昧さんが紹介し、多くの方々が楽しんで鑑賞していらっしゃいました。

10月



創作体験教室(風景画)

平成21年10月11日(日) 奄美パーク内

鹿児島県美術協会副会長の前畑省三先生を講師に、創作体験教室風景画講座を開催。当日は天候に恵まれた絶好のスケッチ日和となりました。奄美パーク内のガジュマルの木や高倉などを、皆さん思い思いの作風で描き、最後に講評会を行いました。参加者からは、「分かりやすい指導でますます絵が好きになった」などの声をいただきました。



10月ライブステージ

平成21年10月18日(日) 13:30～15:50 イベント広場

玉城流 琉扇會 山元孝子琉舞道場によるライブステージを開催しました。琉球舞踊、シマ唄、ジャズダンス、空手の演武など、バラエティにとんだ内容盛りだくさんのイベントとなり、出演者の年齢も2歳から75歳までと幅広く、「和洋の共演」で来場者の方々を楽しませていました。



第5回新緑～紅葉スケッチコンクール

平成21年10月25日(日)～11月29日(日) アイランドインフォメーション

田中一村記念美術館企画事業として毎年開催している新緑～紅葉スケッチコンクール。第5回は、2歳のお子さんから大人まで、60名の方々が作品を出品してくださいました。中でも、指宿市丹波小学校1年生 海江田蒼太君の作品は、ガジュマルを力強く大胆に描き、見事に大賞を受賞しました。11月3日には、イベント広場にて「奄美を描く美術展」と合同で授賞式が行われました。

11月



芸術文化講演「奄美曼荼羅～一村作品の謎解き～」

平成21年11月3日(火) 14:00～15:30 レクチャールーム

「第5回新緑～紅葉スケッチコンクール」及び「第8回奄美を描く美術展」の授賞式に合わせ、学芸専門員による田中一村作品についての講演会を行いました。伊藤若冲や小室翠雲などの日本画家と対比しながらの一村の紹介や、代表作である「クワズイモとソテツ」に隠された一村の思いを知ると、お客様から驚きの声があがっていました。



第8回奄美を描く美術展

平成21年11月3日(火)～11月29日(日) 田中一村記念美術館 企画展示室

田中一村記念美術館企画事業として毎年開催している「奄美を描く美術展」。第8回目を迎えた今回は、15都道府県から146点の作品が出品され、様々な方向から「奄美」にアプローチした、表現に富んだ作品が多く寄せられました。11月3日に行われた授賞式の後は、会場で出品者自らが制作過程の裏側などを語り、多くの見学者がいらっしゃいました。

2009.7 >> 2010.3

奄美パーク イベント実績報告



11月ライブステージ「第7回奄美島唄への誘い」

平成21年11月29日(日) 13:30~16:10 イベント広場

「笠龍地区民謡保存協会」によるライブステージを開催しました。笠利、龍郷地区を中心に歌われるシマ唄・カサン唄の繊細な調べがシマ唄ファンを魅了し、奄美市立宇宿小学校の児童23名は、郷土芸能の伝承活動の成果として、「稲すり踊り2009」を発表。躍動感あふれる稲すり踊りを披露し、来場者を楽しませていました。

12月



堀晃個展「アオイ月が満チルマデ、」

平成21年12月13日(日)~1月11日(月) 田中一村記念美術館 企画展示室

瀬戸内町嘉徳にアトリエを持つ画家・堀晃氏による個展「アオイ月が満チルマデ」を開催しました。小作から200号の大作まで26点の作品は、どれも幻想的な空間を創出しており、訪れたお客様を楽しませていました。また、観賞されるお客様の中には、絵画の上に指を走らせ、遠い昔の記憶を辿りながら思い出を語る方も見られました。



フュウメコンサート

平成21年12月13日(日) 13:30~15:30 イベント広場

奄美市立奄美小学校ビューグルバンドによるマーチング、笠利ジャンベクラブの演奏に続いて、袖愛好結いの会による大島袖ショーが展開されました。徳田ゆかりさん、人見珠代さんはソプラノとメゾソプラノの声量豊かなデュエットで観客を魅了。永井姉妹は瀬戸内のシマ唄を楽しいトークを交えながら歌いあげました。司会は鹿児島県立大島高校放送部が初挑戦し、朗読も披露。楽しいイベントとなりました。

2010
1月



初春唄あしび

平成22年1月3日(日) 13:30~16:20 イベント広場

正月休みを利用して奄美を訪れる観光客や帰省客の皆さんへ向けて、坪山豊さん企画による「初春唄あしび」を開催しました。柳清会本流による琉球舞踊で始まり、シマ唄や、節田マンカイ保存会による「正月マンカイ」で新年を華やかにお祝いしました。また、フランス出身のアメリさんのバイオリンと、坪山さんとお孫さんが演奏するシマ唄・三線とのコラボレーションで、観客を魅了していました。



親子美術館探検

平成22年1月3日(日) 田中一村記念美術館

ふだん見ることのできない美術館の裏側を紹介する「親子美術館探検」を開催しました。学芸専門員が案内役となり、機械室、館長室、倉庫などを回り、展示物以外で演出する施設のこだわりポイントや、美術館を支える設備について解説を行いました。参加者からは、「美術館の裏側を知ることが滅多にできないので、とても良い体験ができた」とのお声をいただきました。



奄美パーク文化講演会「新春寄席」

平成22年1月10日(日) 13:30~15:30 イベント広場

新春を笑いで始めようと「新春寄席」を開催しました。鹿児島県鹿屋市出身の瀧川鯉八さんが軽快な「牛ほめ」で前座を務め、仲入り後、桧山うめ吉さんが三味線で歌踊りなど俗曲を披露。この日のメイン、真打ちとして10年の実績をもつ桂歌助さんは、「井戸の茶碗」「なすかぼ」を披露しました。噺家達の巧みな話術に、会場は笑いの渦に包まれ、楽しい初笑いの会となりました。



「神への祈りと島のリズム」石垣昭子作品展 同時開催 奄美の古芭蕉

平成22年1月17日(日)~2月7日(日) 田中一村記念美術館 企画展示室

奄美芭蕉布プロジェクト実行委員会の招きにより、西表島の染織作家、石垣昭子氏の作品展を開催しました。草木染めと手織りによって制作された絹芭蕉布作品や、奄美に残る古芭蕉着物、芭蕉布の製作工程などが展示されました。初日に開催されたシンポジウムでは、石垣昭子氏による西表島での芭蕉布復刻の活動や、奄美での芭蕉布作りの可能性について講演いただきました。



2009.7 >> 2010.3

奄美パーク イベント実績報告

2月



美術講演「もうひとつの生誕100年」-東山魁夷と田中一村-

平成22年2月7日(日) 14:00~15:30 レクチャールーム

長野県信濃美術館で「生誕100年東山魁夷展」を担当した伊藤羊子氏が、田中一村と同じ年に生まれ、東京美術学校でも同期だった魁夷の作品や生涯について、スライドを活用して分かりやすく説明しました。
また、一村と魁夷を対比しながら、一村研究の可能性について参加者と活発な意見交換が行われました。



奄美パーク春まつり〜シマジマだより〜

平成22年2月28日(日) 13:30~15:45 イベント広場

本土より一足先に春が訪れる奄美。春間近なこの時期に、さまざまな芸能を楽しむ春まつりを開催しました。朝日小学校吹奏学部、舞舞オールオーラのフラメンコに続き、山田薫さんの島口漫談で会場は和やかな雰囲気。敷根樹里さんと奥田悌造さんの新民謡、川口さくらさんのバイオリン演奏、当原ミツヨさんはシマ唄を披露。大島高校茶道部による呈茶や、味の郷かさりによる特産品バザールも行われました。



大高芸術祭

平成22年2月21日(日)~3月7日(日) 田中一村美術館 企画展示室

鹿児島県立大島高等学校美術部・書道部による絵画・書の作品展示のほか、県民大学で書道を学んだ一般の作品も併せて展示されました。44点の作品はどれも個性にあふれ、会場を訪れた方々を魅了していました。
大高芸術祭初日の21日には、オープニングイベントとして大島高等学校吹奏楽部によるミニコンサートも開かれ、会場は満員御礼で盛り上がっていました。

3月



奄美パーク春まつり〜サンガツサンチ〜

平成22年3月7日(日) 13:45~16:00 イベント広場

鹿児島県立大島北高校の北大島太鼓部の勇壮で元気なオープニングで始まり、藤野会の華やかな日本舞踊、武島加奈ハワイアンフラスタジオの踊り、奄美市立金久中学校・名瀬中学校バスケットボール部は球舞を披露。続いて、川口さくらさんのバイオリン演奏、里美加・ありすさん親子のシマ唄。最後に、川畑さおりさんによるトークを交えながらのシマ唄・新民謡の後、六調で盛会のうちに終了しました。



創作体験教室(人物画)

平成22年3月13日(土)、3月14日(日) 9:30~16:00 田中一村記念美術館 企画展示室

二科会鹿児島支部長である西健吉先生をお招きし、奄美での本格的な人物画講座を開催しました。集まった美術愛好家や地元高校生が、モデルを前に人物画を制作。西先生の熱心な指導のもと、腕を磨いた様子でした。講座は2日間にわたって行われ、制作後の講評会では、西先生より構図や背景の使い方、光の描き方などについて、参加者の作品一点一点を見ながらのアドバイスがなされました。



3月ライブステージ「あらしゃげていっちゃりょんかい」

平成22年3月21日(日) 13:30~16:00 イベント広場

「いっちゃりょん会」によるライブステージを開催しました。道の島太鼓による六調太鼓の演奏や、笠利ジャンベクラブによるジャンベ演奏とアフリカンダンス、シマ唄、日本舞踊、新民謡、六調太鼓自慢、八月踊りなど、多彩なプログラムで盛り上げ、出演者と観客が一体となり、楽しいライブステージとなりました。



「TODAY'S ART TEXTILE in AMAMI vol.2」

平成22年3月23日(火)~4月11日(日) 田中一村記念美術館 企画展示室

武蔵野美術大学卒業生により結成され、24年目を迎えたTODAY'S ART TEXTILEによるテキスタイルの展覧会を開催しました。
奄美パークでは二度目となる今回の企画展には23名の作家が参加し、どの作品もアイデンティティ豊かで、多彩な展示となりました。
来場者の方々も、作品一つ一つに見入るようにしてじっくり鑑賞されていました。